

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症予防接種のご案内
～子宮頸がんの予防接種～

予防接種の受け方

対象者 対象年齢に達した中学１年生女子の方へご案内しています。
※過去に定期接種を完了した方は、接種対象者ではありません。
〔 接種する時点で、恵那市に住民票のある方が対象です。
転居された場合は住民票のある各市町村へお問い合わせください。 〕

期 間 高校１年生相当の年齢（１６歳）になる年度の末日まで（2030年３月31日まで）
（期間を過ぎても接種は可能ですが、有料での接種となりますので、注意してください）

接種場所 指定医療機関
予約が必要です。医療機関へ予約をしてください。

令和７年度 指定医療機関一覧

地区	指定医療機関	予約期限	電話番号	地区	指定医療機関	予約期限	電話番号
大井	井口ハートクリニック	３日前	25-0810	武並	NexWel恵那地域 笑顔共創クリニック	７日前	050-3155 -5585
	市立恵那病院 ※第3木曜日のみ	７日前	20-1657	飯地	国保飯地診療所	７日前	22-3027
	蜂谷医院	要予約	26-2346 25-7833	明智	おおさわ医院	３日前	54-4976
長島	安部医院	７日前	22-9777		尾崎医院	２日前	54-2141
	河上クリニック	３日前	25-0551 25-0552	※中津川市内の指定医療機関でも接種可			
	中部クリニック	７日前	26-3001				
	虹いろ在宅ケアクリニック ※原則かかりつけの方のみ	７日前	22-9235				
	林外科・内科 ※個別対応	７日前	26-5155				

- 持ち物**
- ☐ 予防接種予診票（母子健康手帳を確認し、必要事項を記入してください）
 - ☐ 母子健康手帳
 - ☐ 本人確認書類（マイナンバーカード等）
 - ☐ 福祉医療費受給者証
 - ☐ 内服中の場合は薬の内容がわかるもの
 - ☐ 医療機関によっては診察券が必要な場合もありますので、予約時にご確認ください

ワクチンの種類と接種方法

ワクチンの種類	予防できるHPV型	接種スケジュール
2価ワクチン (サーバリックス®)	HPV16、18型	1か月の間隔をおいて2回接種を行った後、1回目の注射から6か月の間隔をおいて3回目の接種を行う
4価ワクチン (ガーダシル®)	HPV6、11、16、18型	2か月の間隔をおいて2回接種を行った後、1回目の注射から6か月の間隔をおいて3回目の接種を行う
9価ワクチン (シルガード®)	HPV6、11、16、18、31、33、45、52、58型	【15歳の誕生日前日までに1回目の接種を行う場合】 6か月の間隔をおいて2回接種で完了となる。ただし、2回の接種間隔が5か月未満であった場合は、2回目接種から3ヶ月以上の間隔をおいて3回目を接種する 【15歳以上で1回目の接種を行う場合】 4価ワクチンと同スケジュールで3回の接種を行う

上記3種類のワクチンから1つを選択し、接種していきます。

種類によって接種回数や間隔が異なるため、注意が必要です。

接種にあたっての注意事項

接種前に、同封してある「小学校6年～高校1年相当の女の子と保護者の方へ大切なお知らせ」を必ず読み、HPVワクチンについて理解していただいたうえで、接種してください。

❶体調の良い時に受けることが原則です。健康状態に心配がある場合（持病がある・病気の治療中・アナフィラキシーをおこしたことがあるなど）は、あらかじめかかりつけ医にご相談ください。

❷以下の状態の場合には接種を受けることができません。

◎明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）がある場合や、体調が悪い場合

◎重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合

◎HPVワクチンの接種液の成分によって、アナフィラキシーを呈したことが明らかな場合

◎医師が、予防接種を行うことが不適当な状態と判断した場合

❸16歳未満の方が接種する場合は、保護者の同意が必要です。

HPVワクチン接種については、保護者が予防接種について理解し、納得してお子さんに予防接種を受けさせることを希望する場合に、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種予診票（保護者が同伴しない場合）に自ら署名することによって、保護者が同伴しなくてもお子さんは予防接種を受けることができるようになりました。ヒトパピローマウイルス感染症予防接種予診票（保護者が同伴しない場合）の用紙を利用する場合は、恵那市のホームページからダウンロードしていただくか、恵那市役所健幸推進課までご連絡ください。

恵那市 HPV

検索



お問い合わせ先： 恵那市役所健幸推進課 電話 0573-26-6823

20歳になったら、子宮頸がんを早期発見するため、子宮頸がん検診を定期的に受けることが重要です。

ワクチンを接種していても、していなくても、20歳になったら2年に1回、必ず子宮頸がん検診を受けてください。